

NPO法人あさひ

調査団体名	: NPO法人あさひ	団体代表者名	: 山内 貞
設立年	: 2005年	対応してくれた人の名前	: 山内 貞、矢田亜弥
団体URL	: http://www.ikomahausu.com/	調査員	: 洲崎燈子
活動拠点	: いこまハウス(豊田市牛地町西久保)	レポート作成者	: 洲崎燈子
取材日	: 2018年1月12日		

活動内容

現在9人のスタッフで「いこまハウス」と「笹戸ハウス」を運営している。名前の由来は活動地の合併前の町名(旭町)から。

いこまハウス(1998年～)...廃校になった小学校で毎日、障害のある人たちのための自立支援を行っている。敷地内外の物を原料にして堆肥を作り、自家消費用の野菜を育てる。近隣に自生するオニグルミの実を取って地元のお菓子工房に卸したり、殻をグッズに加工する。園芸、しいたけづくり、竹細工も行う。愛知県内全域の10～50代の人たちが笹戸ハウスを利用しながら活動している。日々の活動によって利用者の情緒が安定し、健康が維持されることをめざしている。自然の中で活動する効果を実感している。

笹戸ハウス(2002年～)...いこまハウス利用者のための共同住居施設。元はホテルだった建物を使用。敷地内には「小さな森の販売所」を併設し、全国のご当地カレーやご当地ラーメン、いこまハウスで作った園芸作品・クルマグッズなどを販売している。

この会を始めたきっかけ

代表の山内さんは20代の時に福祉の業界に入り、いろいろな疑問を持つようになった。その疑問を解消するために現在の事業形態を考案し、実現に向けていろいろ勉強した。1997年に廃校になった生駒小学校を利用したいと旧旭町に交渉して、借り受ける了承を得ることができた。1998年に入って電気、ガス、水道も通っていない校舎に半年素泊まりしながら、活動を始める準備をした。

会のモットー(何を大切にしているか)

会のモットー

会を運営するにあたりこだわりはない。障害を持つ人やその家族が、いつまでも心身ともに健康でいられるように、運営体制も活動内容も情勢に合わせて変えていく。



いこまハウス



笹戸ハウス

設立から現在に至るまで変化したこと

①当初は障害を持つ方々やそのご家族に、いつでも気軽に利用でき心身ともにリフレッシュして頂けるように、レスパイト事業としてオープンした。当時は福祉作業所や学校を終わった人たちも利用していて、夕食を提供し家庭に送り届ける活動もしていた。24時間365日営業し、昼夜を問わず連絡があれば送迎した。スタッフもいこまハウスで生活し、利用者と共に寝泊まりしていた。その後様々な問題を抱え、家庭でも施設でも介助できない状態の人たちの宿泊が多くなってきたので、日帰りの活動部分を2002年に名古屋の会社に移管した。

長期間宿泊する利用者が増え、いこまハウスはもともと学校なので、短期間寝泊まりするのであればストレスもたまりにくいですが、長期間教室で寝泊まりするのは問題があり、宿泊の部分をホテルだった笹戸ハウスに移した。現在笹戸ハウスといこまハウスをマイクロバスで移動している。

②当初、いこまハウスは健常者と障害者の人たちが共存できる居場所づくりをめざし、キャンプや合宿など宿泊利用できるように並行して行っていたが、健常者の人たちが利用できる宿泊施設として許可を得るには問題が多すぎて（同じ人間なのに、障害者と健常者の宿泊施設が違うのは不公平ですよ）、福祉事業に絞って行うことにした。

連携している団体・専門家・自治体など

りん工房（同じ旧旭町内で地元の食材でお菓子を作っている女性グループ）

現在直面している課題

①入所施設はどこもいっぱいではなかなか入れず、多くの方が入所待ちをしている。グループホーム・ケアホームもできてはいるが、すぐにいっぱいになり、それを支える職員もなかなか見つからないのが現状。特に障害の重い人たちはどうしても敬遠されがちで、そういった方々が時々面接に来るが、私たちも厳しい現状に立たされているので、全ての方のニーズに応えられなくて申し訳なく思っている。

②高齢化していく障害者の問題。親がいなくなった後、どのような体制にしていくのかが大きな課題。

今後やってみたいこと

自立した運営をしていくために、様々なプロジェクトを考え用意していく。待機している障害者・親がいなくなった後の体制、全て法人が自立できれば解決できる問題なので、そのために努力し続ける。

法人が、末永く続いていくことを願っている。

その他、思うこと

私は毎日、何をやっているのかな？役に立っているのかな？と思います。

約20年の間には、もっともっと様々な出来事がありました。当初はお金がなく、給料も払えないような期間もありました。ここでは言えないこともたくさんあります。多くの方が、最後には幸せな人生であったと思って...

写真



乾燥中のくるみグッズ(クリップ)



ホームページトップ

奥矢作いこまふるさとまつり(2016.9.19)

